



Color & Comfort

# BASF Colors & Effects 事業に関する 株式及び資産の取得（子会社化）について

2019年8月29日

DIC 株式会社

Color & Comfort



1. 本買収の概要
2. 中期経営計画「DIC111」における顔料事業戦略・戦略投資
3. 対象事業概要と本買収の意義
4. 業績／財務インパクト
5. 本買収後の経営体制

# 1. 本買収の概要

2. 中期経営計画「DIC111」における顔料事業戦略・戦略投資

3. 対象事業概要と本買収の意義

4. 業績／財務インパクト

5. 本買収後の経営体制

## 本買収の概要

対象事業	BASF Colors & Effects 事業
取得価額	985百万ユーロ (1,162億円) 上記取得価額は、対象事業の企業価値 (1,150百万ユーロ) から2018年末時点の現預金・借入金等の残高を調整した金額 (参考値) です。実際の取得価額は、クローリング時点での現預金・借入金等の残高や運転資金の増減などにより変動します。 (1ユーロ = 118円で換算、小数点以下は四捨五入)
クローリング	2020年末まで
資金調達	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 手元資金及び新規のブリッジローンにより充当</li><li>▶ その後、最適な財務構成実現に向けた資金調達を検討予定 (新株発行を伴う資金調達は予定していない)</li></ul>
本買収実行までに必要なプロセス	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 該当する各国での競争法上の届け出及び各国競争法当局からの認可取得</li></ul>

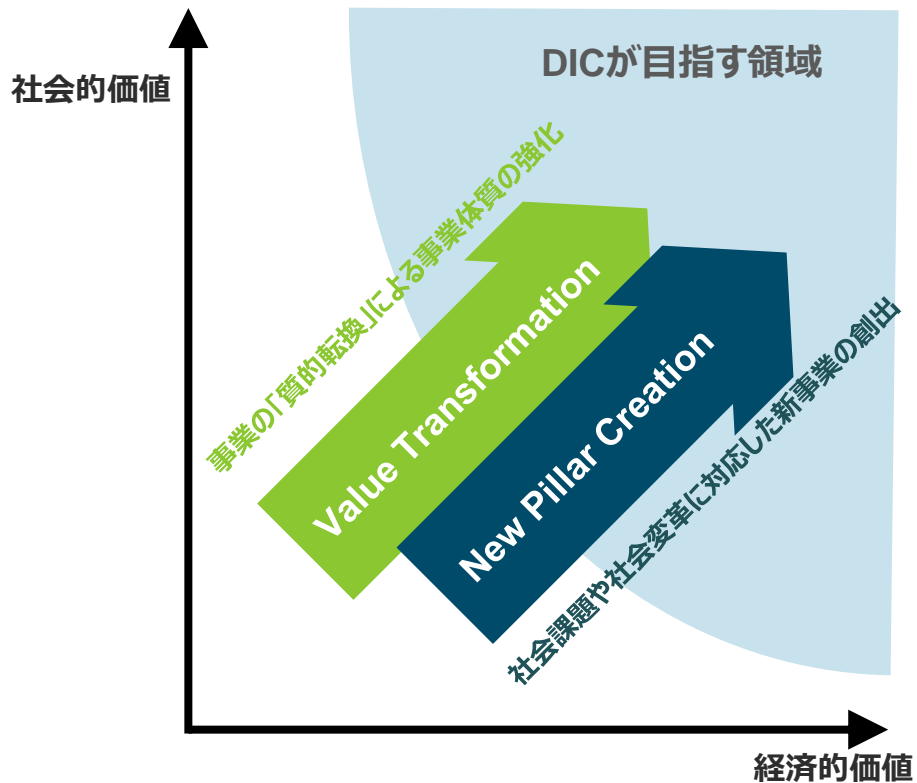
1. 本買収の概要
- 2. 中期経営計画「DIC111」における顔料事業戦略・戦略投資**
3. 対象事業概要と本買収の意義
4. 業績／財務インパクト
5. 本買収後の経営体制

# 中期経営計画「DIC111」における顔料事業戦略

## DICの目指す企業像

「安全・安心」、「彩り」、「快適」の価値提供を通じて  
ユニークで社会から信頼されるグローバル企業へ

2つの基軸による事業ポートフォリオ転換



\*1 2018/12期時点

## 基本戦略

“Value Transformation”  
事業の「質的転換」による事業体質の強化

### パッケージング&グラフィック

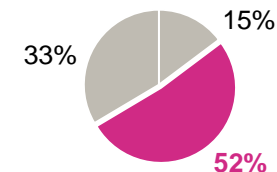
包装材料を通じて、  
社会や暮らしに「安全・安心」を提供する

**プリンティングマテリアル**  
パッケージ用インキ  
ジェットインキ など

**パッケージングマテリアル**  
ポリスチレン  
フィルム など

付加価値の高い成長分野  
(パッケージソリューション、  
スペシャリティ) にリソースを  
集中

全社売上高構成割合<sup>\*1</sup>



### カラー&ディスプレイ

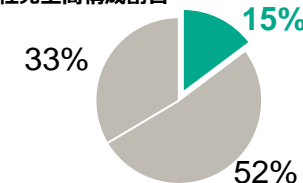
表示材料を通じて、  
社会や暮らしに「彩り」を提供する

**カラーマテリアル**  
機能性顔料  
天然系色素 など

**ディスプレイマテリアル**  
液晶材料 など

戦略製品へのリソース  
シフトによる成長加速と  
既存事業の合理化  
による安定を両立

全社売上高構成割合<sup>\*1</sup>



### ファンクショナルプロダクト

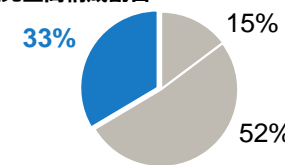
機能材料を通じて、  
社会や暮らしに「快適」を提供する

**パフォーマンスマテリアル**  
水性・UV硬化型樹脂  
電気・電子材料用樹脂 など

**コンポジットマテリアル**  
自動車用コンパウンド・テープ  
中空糸膜モジュール など

環境対応、機能性を高めて  
社会貢献と成長を実現

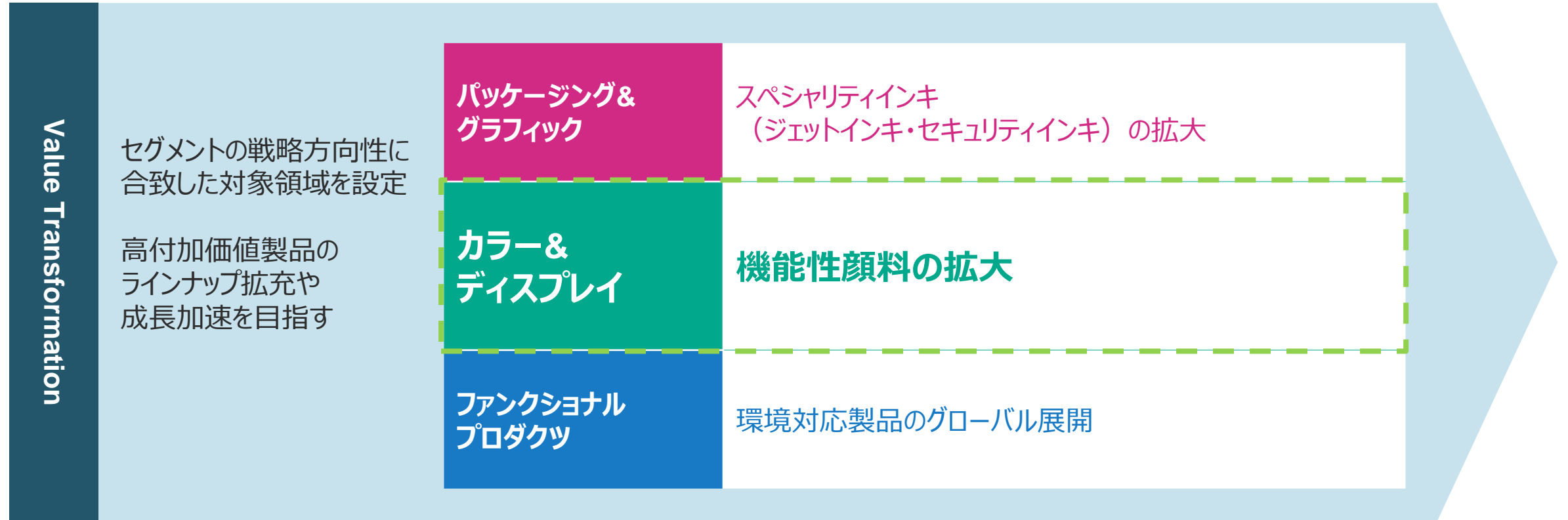
全社売上高構成割合<sup>\*1</sup>



## 中期経営計画「DIC111」における戦略投資

2,500億円の戦略投資枠を設定、M&Aによるインオーガニック成長も含めた事業ポートフォリオの転換を加速

セグメント毎に設定した対象領域において、高付加価値製品のラインナップ拡充や事業ポートフォリオの高度化を企図



**BASF Colors & Effects買収は、DIC111に掲げるValue Transformationを実現するための最適な戦略であり、M&Aによる成長加速を企図する投資戦略に合致**

# カラー&ディスプレイ事業部門の概要と戦略

## 事業部門の概要

表示材料を通じて、  
社会や暮らしに「彩り」を提供する

### カラーマテリアル製品本部

- 有機顔料
  - ディスプレイ用顔料
  - エフェクト顔料  
(化粧品向け等)
- ヘルスケア食品  
天然系色素
- 

### ディスプレイマテリアル製品本部

- TFT液晶材料
  - STN液晶材料
- 

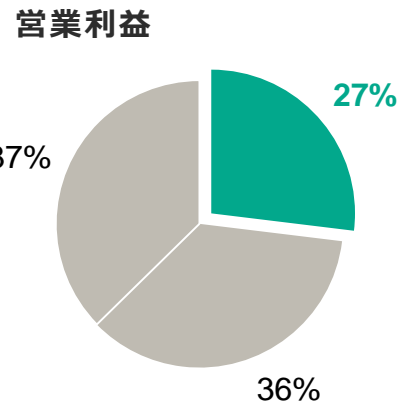
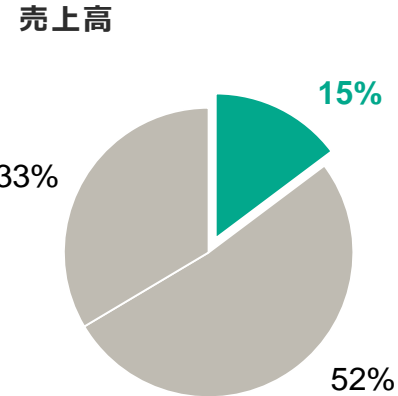
Color & Display

## 地域別生産拠点数 (顔料事業)



## 事業部門の全社貢献

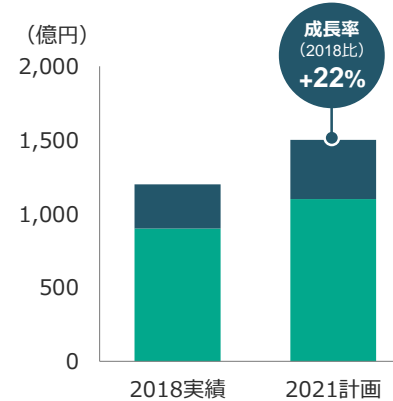
2018/12期実績



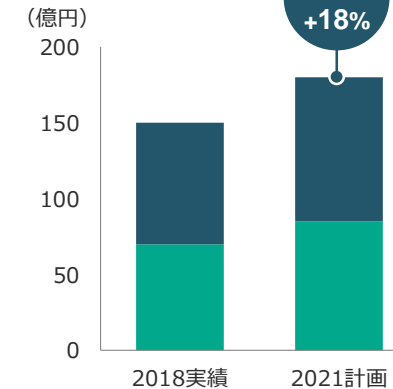
## 事業部門の戦略

戦略製品へのリソースシフトによる成長加速と  
既存事業の合理化による安定を両立

売上高計画



営業利益計画



■ 機能性顔料(化粧品、NIP\*、ディスプレイ用)  
■ 一般顔料、天然系色素、液晶材料他

### 色材分野

- **機能性顔料 (化粧品、NIP\*向け) の拡大**
  - ・ 特殊顔料の生産供給体制の拡大
  - ・ メタリック顔料・パール顔料の拡充
  - ・ 新製品投入によるデジタル印刷分野での拡大
- **M&AによるValue Transformationの加速**
  - 天然系色素 (リナブルー) の拡大

### ディスプレイ分野

- **ディスプレイ用顔料のラインナップ拡充**
  - TFT液晶の拡販と中国市場への展開加速
  - QDインキビジネスへの参入

\*ノンインパクトプリンティング



# グローバル顔料市場の概観とDIC・BASF Colors & Effectsのポジション

- グローバル顔料市場は約**2.3兆円**\*1
- 高級顔料市場は約0.8兆円\*2と推定、2023年まで年率3.4%\*2で成長

## DICとして高級顔料市場をターゲットに設定



\*1 Frost & Sullivan, Allied Market Research, TechnavioよりDIC推定

\*2 Smithers Rapra: "The Future of High-Performance Pigments to 2023"

1. 本買収の概要
2. 中期経営計画「DIC111」における顔料事業戦略・戦略投資
- 3. 対象事業概要と本買収の意義**
4. 業績／財務インパクト
5. 本買収後の経営体制

## 対象事業概要

### 事業概要



- 社名及びブランド名：BASF Colors & Effects
- 設立：2016年カーブアウトにより設立（18法人）
- 本社：ドイツ Ludwigshafen
- 代表者：Alexander Haunschild
- 連結売上高：約1,000百万ユーロ（2018/12期）
- 連結EBITDA：約120百万ユーロ（2018/12期）
- 従業員数：約2,600人
- 製造設備：11か所
- R&Dラボ：4か所
- 事業内容: 顔料及び関連製品の製造販売
- エンドマーケット：化粧品、プラスチック、建築、自動車、印刷、農業等

### ニッチ・スペシャリティ領域において高付加価値な製品を展開

#### 高級有機顔料



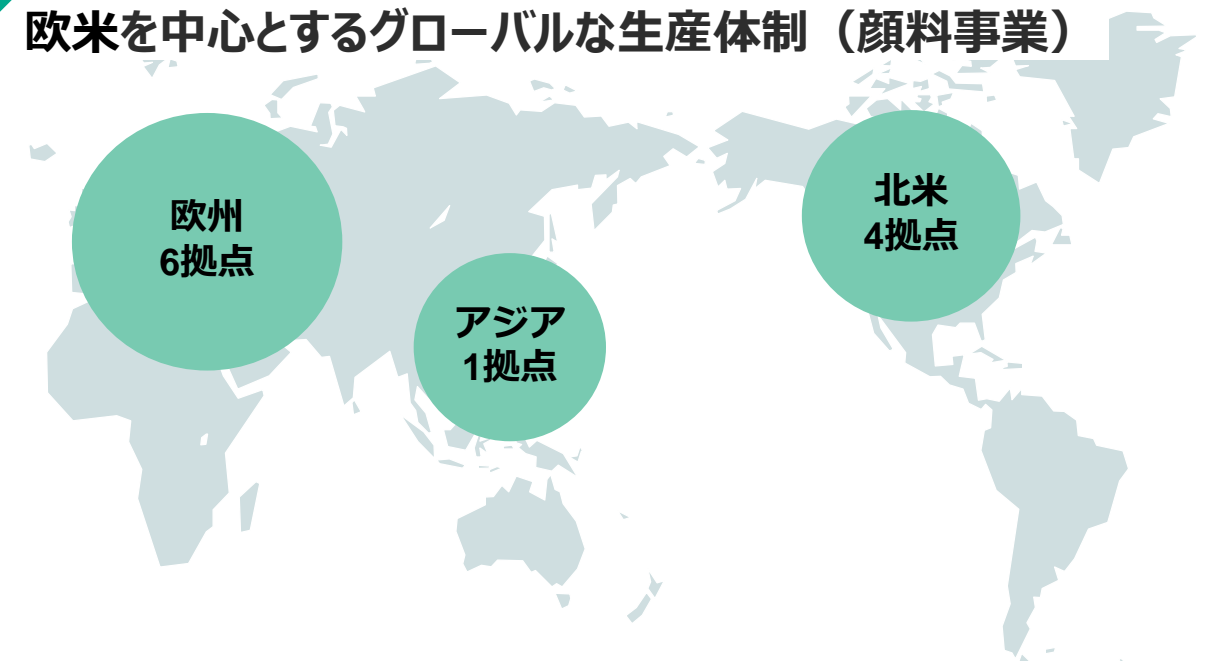
#### エフェクト顔料 (化粧品向け)



#### 特殊無機顔料



### 欧米を中心とするグローバルな生産体制（顔料事業）



## 本買収の意義

### カラービジネスの成長戦略の実現を通じた企業価値の向上



ディスプレイ用顔料

メタリック顔料

高純度酸化鉄顔料

北米・アジアを中心に  
オペレーション

高級有機顔料

パール顔料（化粧品向け）

特殊無機顔料

欧米を中心にオペレーション

1

製品の重複が少なく、補完性が高い  
（両社の特徴を活かせる）















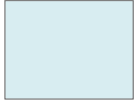
2

地域的補完によりグローバルな  
事業展開を実現

# カラービジネスの成長戦略の実現を通じた企業価値向上

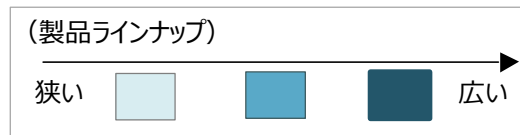


用途

ディスプレイ				
自動車				
化粧品			+	
スペシャリティ				
プリンティング				

3

用途の補完性が高く、ターゲットとするニッチ・スペシャリティ分野においてシナジーを発現



中期経営計画DIC111に掲げる“Value Transformation”を前倒しで実現

## DIC・SUN/ BASF Colors & Effectsのインテグレーションにより期待されるシナジー効果

1

### 製品・素材ラインナップの補完

- ・高級顔料、エフェクト顔料、特殊無機顔料を中心とする機能性顔料の拡充
- ・素材から一貫生産によるバリューチェーンの最適化

2

### 市場・用途展開の拡充

- ・グローバル顧客に対するソリューション提案力の向上
- ・化粧品・スペシャリティ分野の深耕・拡大
- ・自動車用高意匠性塗料・プラスチック向け用途の拡充

3

### 両社保有技術・IPの融合による製品開発力の向上

- ・機能性顔料の設計・用途開発の加速
- ・ディスプレイ・化粧品用顔料の技術融合により製品ラインナップ拡充

4

### オペレーションの最適化

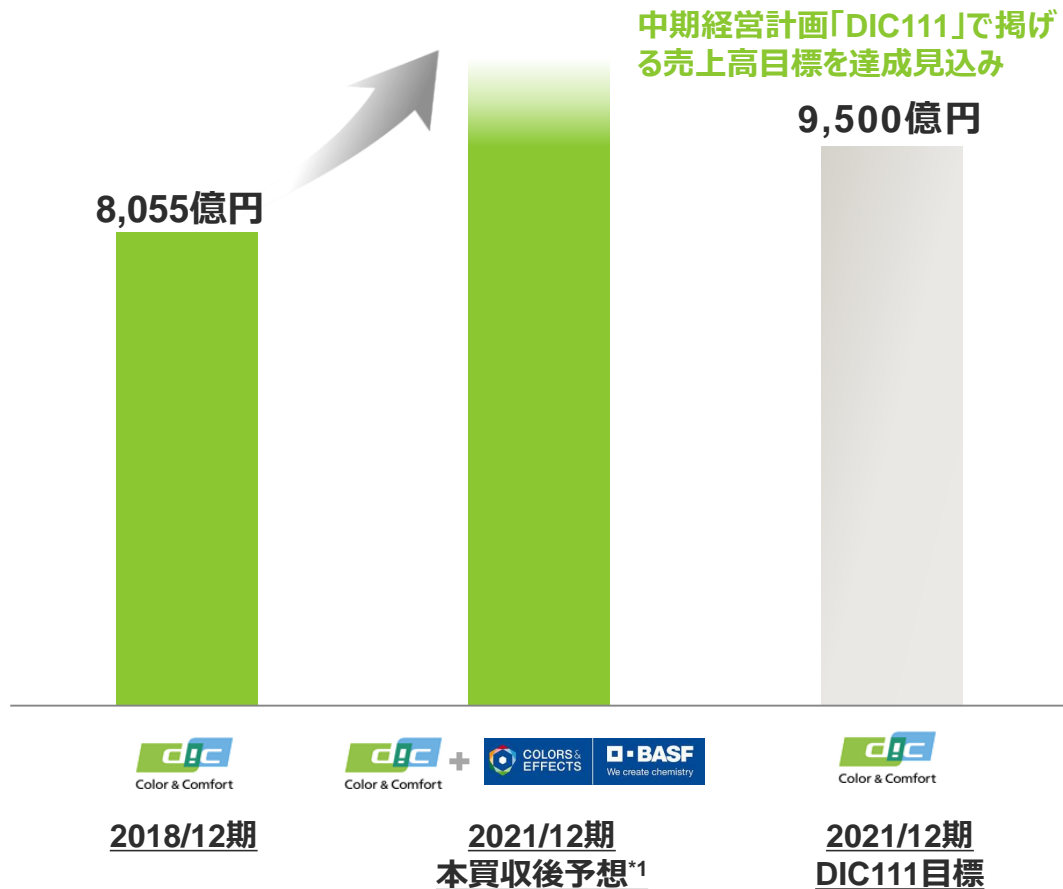
- ・販売チャネル・サプライチェーン・生産設備の効率化
- ・原料の内製化、共同購買の推進

1. 本買収の概要
2. 中期経営計画「DIC111」における顔料事業戦略・戦略投資
3. 対象事業概要と本買収の意義
- 4. 業績／財務インパクト**
5. 本買収後の経営体制

## 本買収による全社業績に対する貢献度

### 本買収前後の全社売上予想と中期経営計画目標

本買収後の全社売上高予想イメージ

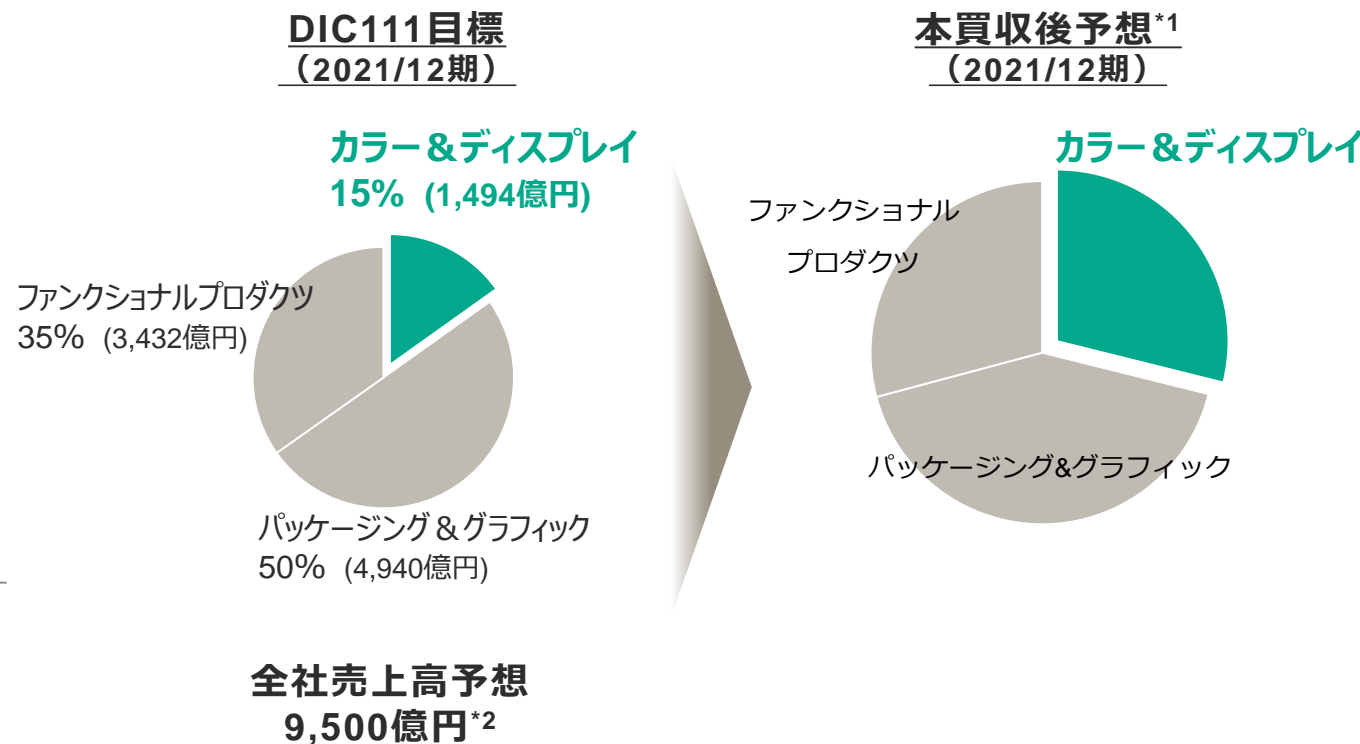


\*1 シナジー効果による売上高拡大を加味

\*2 セグメント間売上高を相殺

### カラー&ディスプレイ事業は全社を支える柱へ成長

本買収前後のカラー&ディスプレイ事業の売上高構成比イメージ





## 財務インパクト

### ■ 資金調達

- ✓ 手元資金及び新規のブリッジローンにより充当
- ✓ その後、最適な財務構成実現に向けた資金調達を検討予定（新株発行を伴う資金調達は予定していない）

### ■ バランスシート管理

- ✓ 当社は「D/クレシオ\*<sup>1</sup> 50%程度維持」を財務目標としており、本買収完了後もD/クレシオは目標の範囲内にとどまる見込み
- ✓ 本買収完了後は、事業からのキャッシュフローにより負債を削減し、財務改善を図る

### ■ 格付

- ✓ 発行体格付A格（JCR\*<sup>2</sup>）を維持する財務運営を継続

### ■ 株主還元方針

- ✓ 中期経営計画で掲げる配当性向30%を今後も維持する予定

\*1 「D/クレシオ」とは、財務バランスの健全度を図る指標  
D/クレシオ = 有利子負債 / (有利子負債 + 純資産)  
\*2 「JCR」= 日本格付研究所

1. 本買収の概要
2. 中期経営計画「DIC111」における顔料事業戦略・戦略投資
3. 対象事業概要と本買収の意義
4. 業績／財務インパクト
- 5. 本買収後の経営体制**

## 本買収後の経営体制

段階的なインテグレーションを実施、Global One Operationにより早期のシナジー発現を目指す





**Color & Comfort**

